

基本施策評価表

所属 28200000

建設部 道路河川維

政策	12 安全で良好な水資源の確保						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	計画的・効率的な水道施設の整備・維持管理や水需要に応じた適切な水源が確保され、市民に対する安全かつ良質な水の安定供給が図られている。 生活雑排水処理対策の推進が図られ、市民の快適な生活環境が確保されている。 治水・利水・環境・景観等に配慮した河川環境が形成されている。						
成果指標	①上下水道整備・管理市民満足度 5年間(H30～H34)で65.0%（現状値63.0%） ②河川環境基準(BOD)達成率 5年間(H30～H34)で100.0%（現状値93.5%）						
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [%]	予定	63.00			65.00	
		実績					
	成果指標2 [%]	予定	94.40	95.30	97.20	98.10	100.00
		実績	96.40				
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	14,350,485	14,578,642	14,464,442	0	0	
	実績	13,953,824	14,578,642	14,464,442	0	0	
内部評価	貢献度	基本施策が目指す姿である、安全で良質な水の安定供給・生活排水処理対策の推進・良好な河川環境の形成を図る上で、本基本施策の目標の達成は大きく貢献するものである。					
	達成状況	単位施策においては、生活排水処理施設の整備・管理は目標値に達したが、他の単位施策については、目標値に達することができなかった。					
	課題	基本施策目標値達成のため、直接目標値に関連する水質基準向上のための各事業の向上及び市民に対しての普及啓発等の工夫が必要である。					
	取組方針	目標値達成のため、水道施設の布設替え計画の見直しや生活排水施設の利用促進、普及活動に努める。また、水路等の維持管理を適正に行い、良好な河川環境の形成を図る。					
外部評価	本市における水環境に関しては、良好であると思われるので、引き続き適切な管理をお願いする。 現在、若者等が中心に水道水を直接飲まない文化が醸成されつつある。それを否定するわけではないが、本市の水道水は飲んでも大丈夫ということをアピールする必要があるのではないかと考える。 市内をめぐるバスツアーなどに行っていると思われるが、本市の水道の仕組みを知るといったバスツアーを企画し、施設や水質について理解を図ってもらうことも必要である。教育の一環として、児童・生徒に理解してもらうことも良いのではないかとと思われる。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	1201	上水道の整備・管理				4,185,595	100
	1202	生活排水処理施設の整備・管理				9,745,215	100
	1203	河川環境の整備・管理				23,014	100

基本施策評価表 補表

施策	12 安全で良好な水資源の確保		
区分	妥当性	妥当	安全で良好な水資源を確保するうえでは、有効であり欠かさないものである。
	コスト削減の余地	有	各単位施策内の事業を見直し、また、調整等を行うことで経費の削減が出来る。
	受益者負担	適正	負担の割合は適正である。
	上位貢献度	有効	基本施策の目標達成への貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替え事業等はない。
	成果向上の余地	有	各単位施策を進めることで成果も向上する。
内部評価	貢献度	基本施策が目指す姿である、安全で良質な水の安定供給・生活排水処理対策の推進・良好な河川環境の形成を図る上で、本基本施策の達成は大きく貢献するものである。	
	達成状況	市民満足度の調査を平成28年度に実施した。河川環境基準(BOD)達成率については平成30年度の目標に達していないが、単位施策については概ね目標のとおり進捗している。	
	課題	基本施策目標値達成のために、単位施策及び各事業についての努力が必要。直接目標値に関連する水質基準向上のための各事業の向上及び市民啓発が必要。	
	取組方針	目標値達成のため、単位施策及び事業の実績向上を図る。	